

経営比較分析表（令和2年度決算）

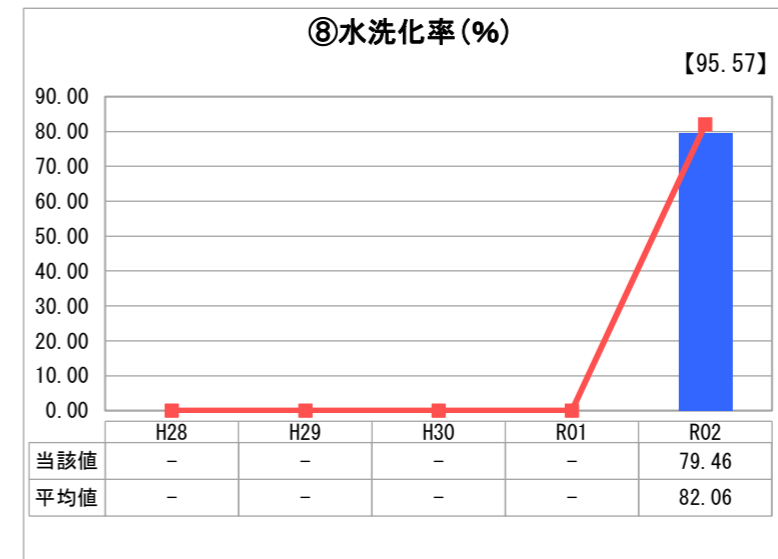
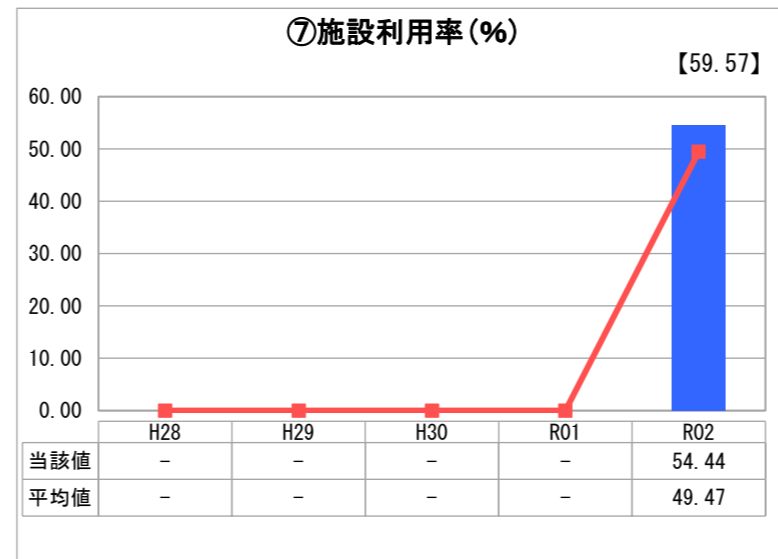
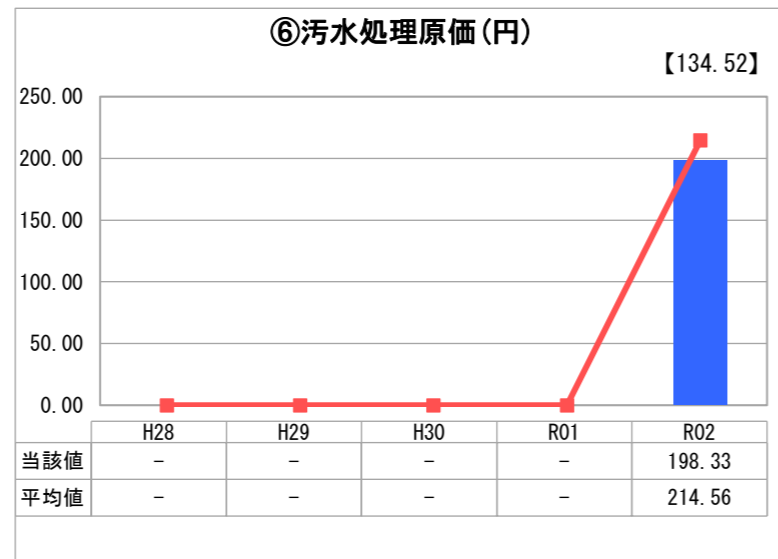
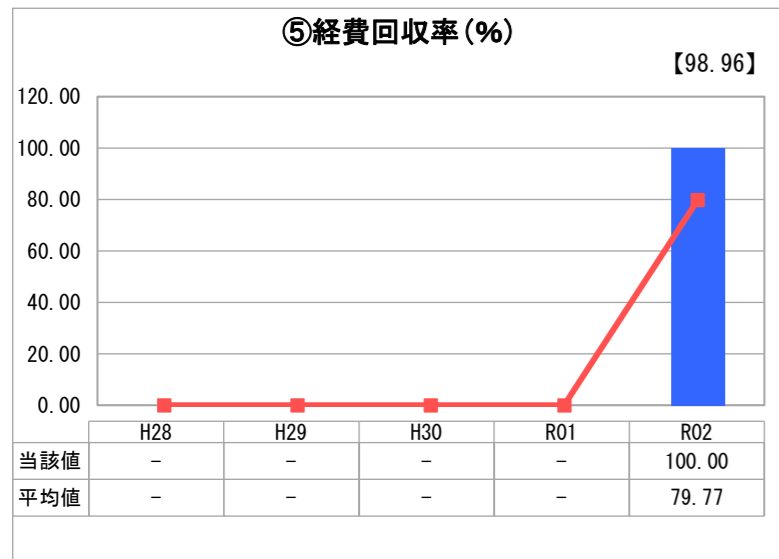
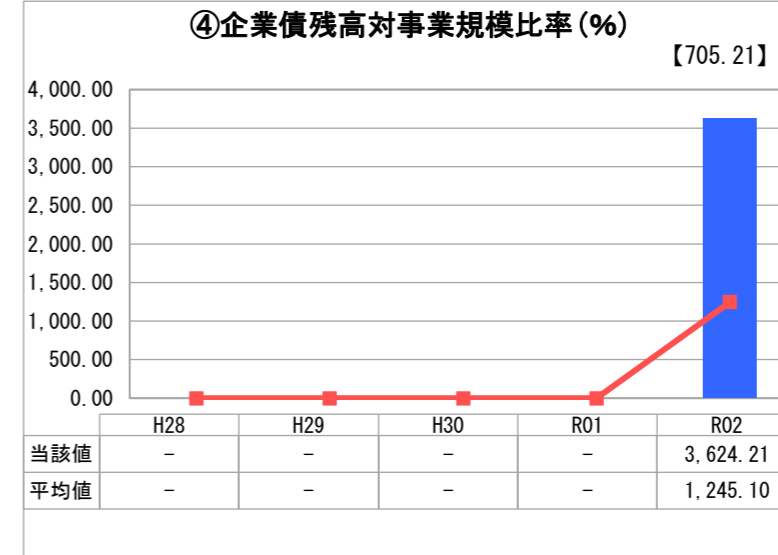
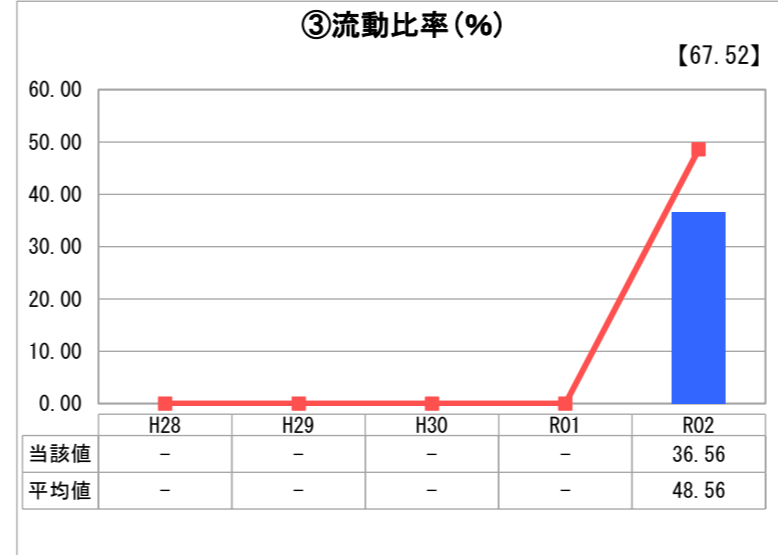
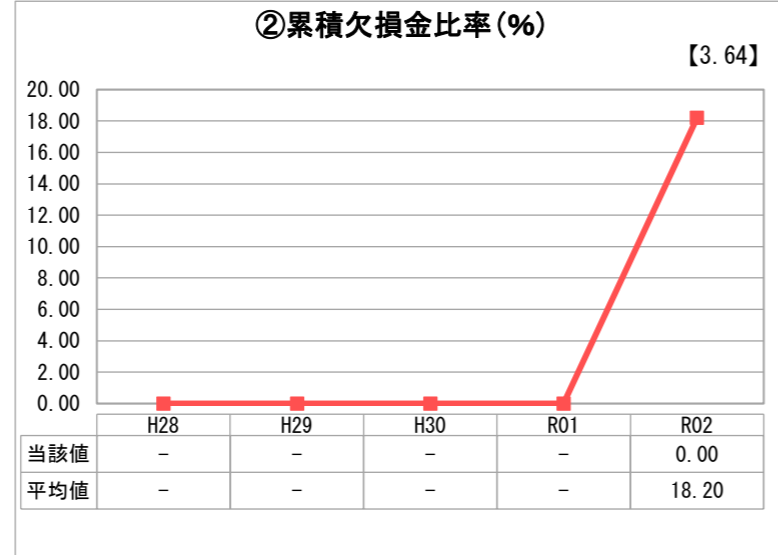
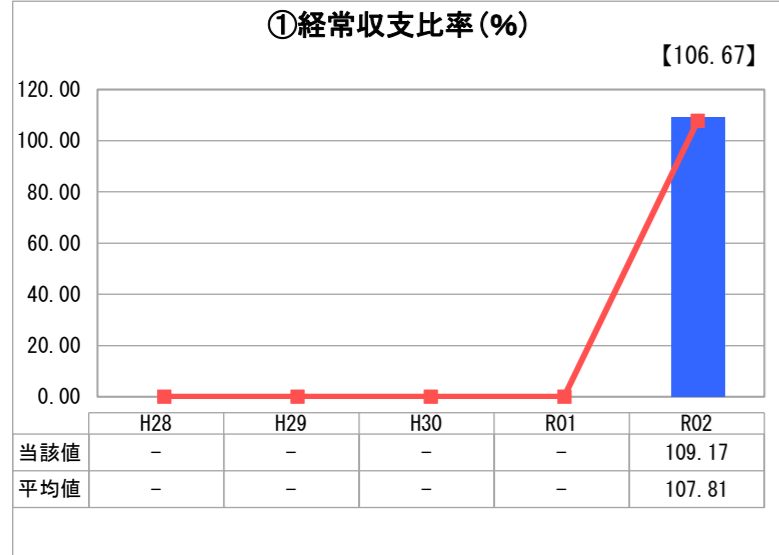
長野県 飯島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	37.43	57.12	100.00	4,752

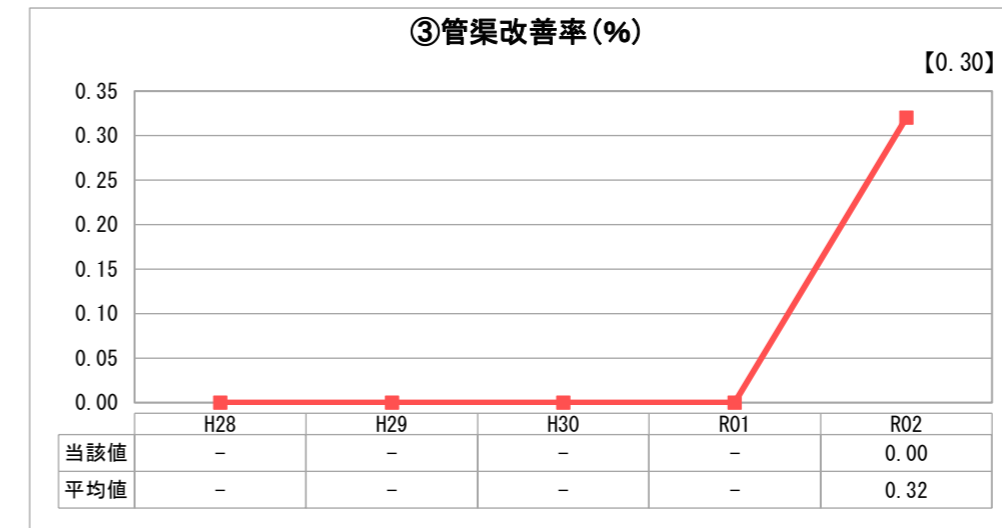
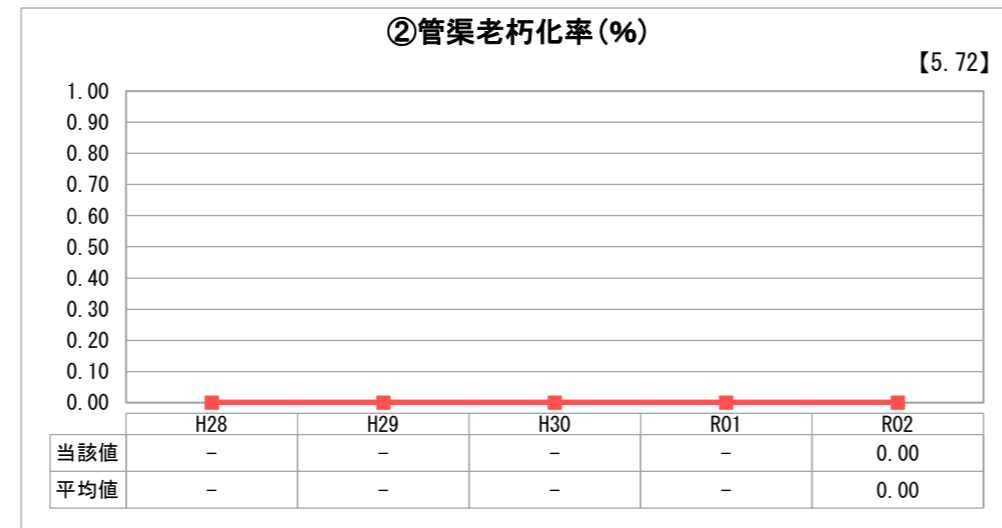
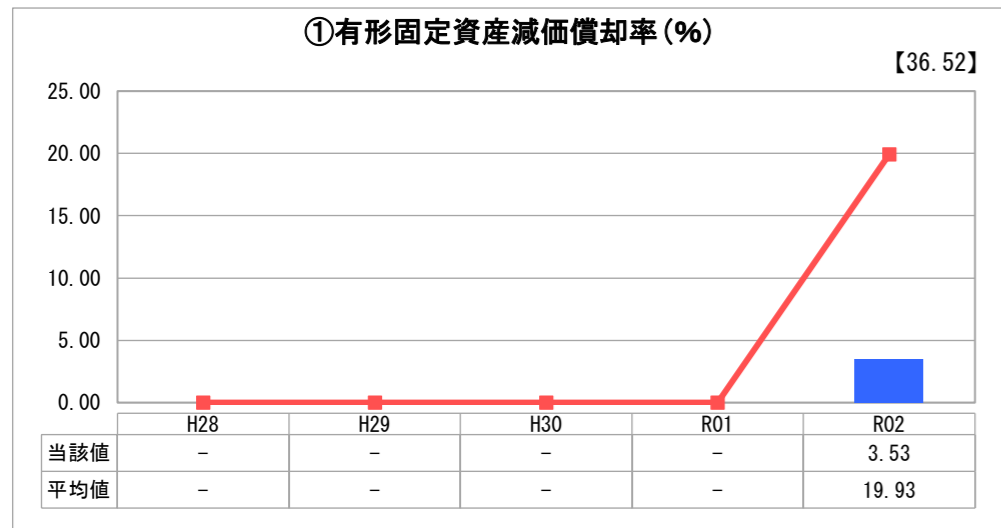
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,318	86.96	107.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,327	3.06	1,740.85

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%以上で、経常損益は黒字となりましたが、一般会計繰入金への依存度は非常に高い状況にあります。
 ②本年度の欠損金計上は0%になります。
 ③流動比率については企業債償還の財源を繰入金に依存しており、現金化できる資産がないため、類似団体平均比べ低い水準となっております。
 ④企業債残高対事業規模比率については、高い水準となっております。今後は、老朽化や不明水対策などの投資と調和をとりながら企業債残高の減少に努めてまいりたいと思います。
 ⑤経費回収率については、類似団体平均と比べ高い水準となっております。今後、使用料収入の減少が懸念される現状でありますので、⑥の汚水処理原価と合わせて、経費削減とともに経営改革への取り組みが必要となっていくと思われます。
 ⑦施設利用率については、類似団体平均と比べ少し高い水準となっております。健全と思われませんが、不明水の影響も一部可能性と考えられます。不明水の調査を行っていく必要があります。
 ⑧水洗化率については、類似団体平均と比べ低い水準となっております。接続促進の取り組みを行い、改善していきたいと思っております。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、法適用初年度のため、類似団体平均より低い水準となっております。
 ②管渠老朽化率は0%となっております。法定耐用年数を経過する管渠はありませんが、計画的な管渠に調査等を行っていきたく思います。
 ③管渠改善率については、法定耐用年数を経過する管渠がないため布設替え工事は実施しておりません。

全体総括

飯島町下水道事業については、令和2年4月1日に地方公営企業法を全部適用し、令和2年度が法適用後の初めての決算となりました。

下水道事業経営については、一般会計繰入金に依存している現状で、老朽化した施設の機器等の更新が必要になり財源の確保が課題となっております。水洗化率を上げ、使用料収入を増やす必要がありますが、少子高齢化が進み大きな使用料収入は見込むことはできません。今後、使用料収入の改定が必要となっていきます。また、将来的には農業集落排水の統合を検討しており、持続可能な事業運営に向けた検討を行ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。